

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■ほうれんそう 目揃え会で病害虫対策について情報提供

4月21日、JAひだ竹原野菜集荷場において、下呂市蔬菜出荷組合ほうれんそう部会の目揃え会が開催され、生産者3名と農業普及課、JA全農岐阜、JAひだ、下呂市の担当者が出席しました。

目揃え会では、生産者から生育状況と今後の出荷見込みについて、JA全農岐阜から他産地の情勢と今後の販売について、JAひだから播種面積調査、異物混入防止、出荷規格見直しなど部会の取組みについての説明がありました。また、夏場の品質向上対策として遮熱シートが部会員に配布されました。

農業普及課からは、今後発生が増えてくる「ハスモンヨトウ」「ナメクジ」の薬剤防除や高温に対応した資材の活用などについて、情報提供をしました。

生産者からは、「気候が読めないため生産者間での病害虫の発生状況等の情報交換が必要」という意見があり、病害虫に関する意識の高さが伺えました。

農業普及課では、農家巡回で生育状況を把握し、栽培技術情報の提供などを通じて、下呂地区の夏ほうれんそうの安定生産を支援していきます。
(地域支援係)



【目揃え会の様子】